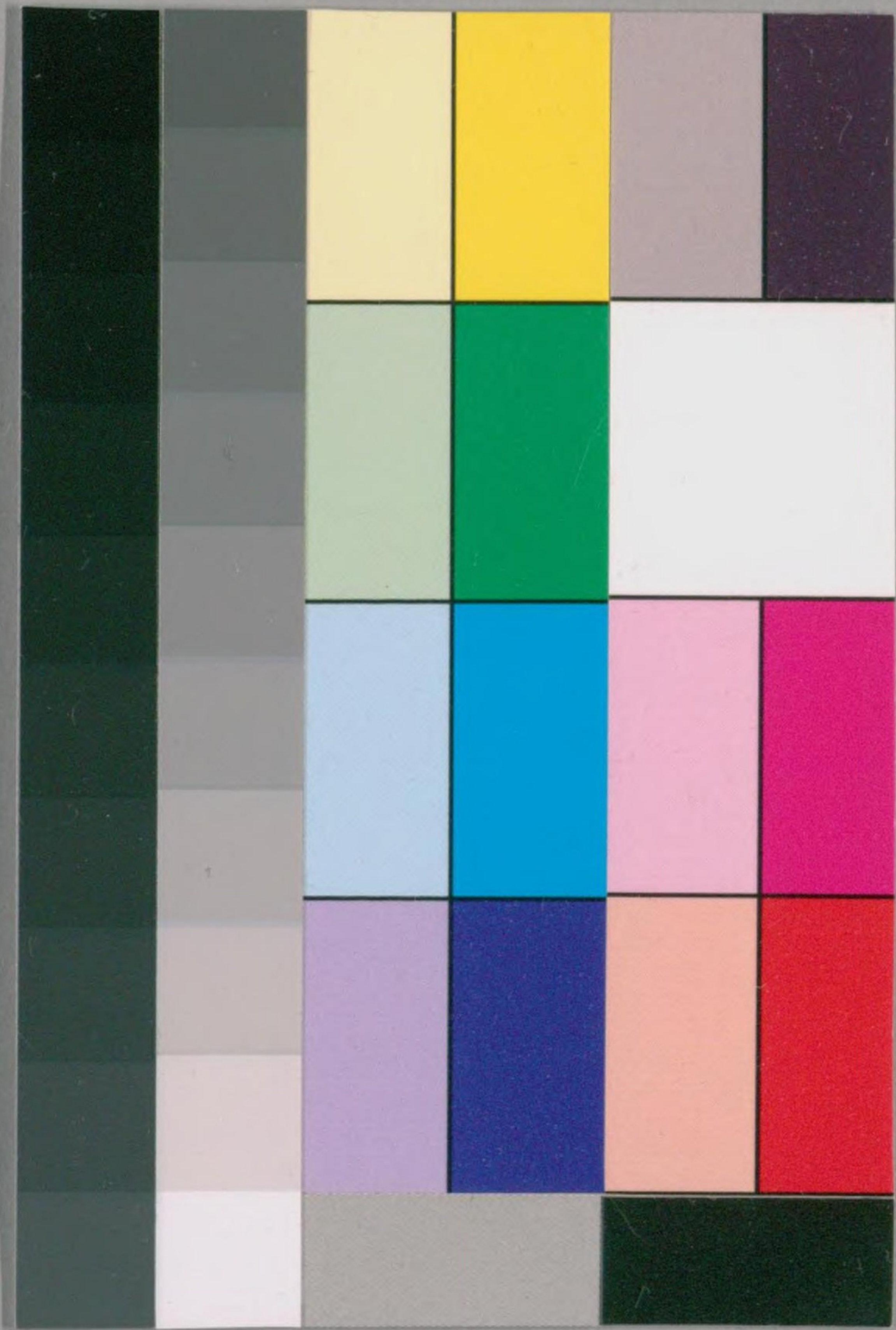


廣黃沈錦抄
十六

共之
花形色
三十九種
花類
木類

185
133



国立国会図書館 タイトル『地錦抄 16巻附録3巻』 請求記号 185-133

ガラス使用

廣益地錦抄卷之八

花本草花三十九種

目錄

故柳原芬楚納本

源氏若木栴ゲンジニシロカキノキ

熊苦栴クマカヘサクラ

冬咲栴フユサキ

海棠栴カキバツ

桃色栴モモイロ

黄棟樹ワウレン

見淨草ミソハシ

唐紫陽カラアザミ

約澹室木ツツミ

朝鮮室木チョウセンウツギ

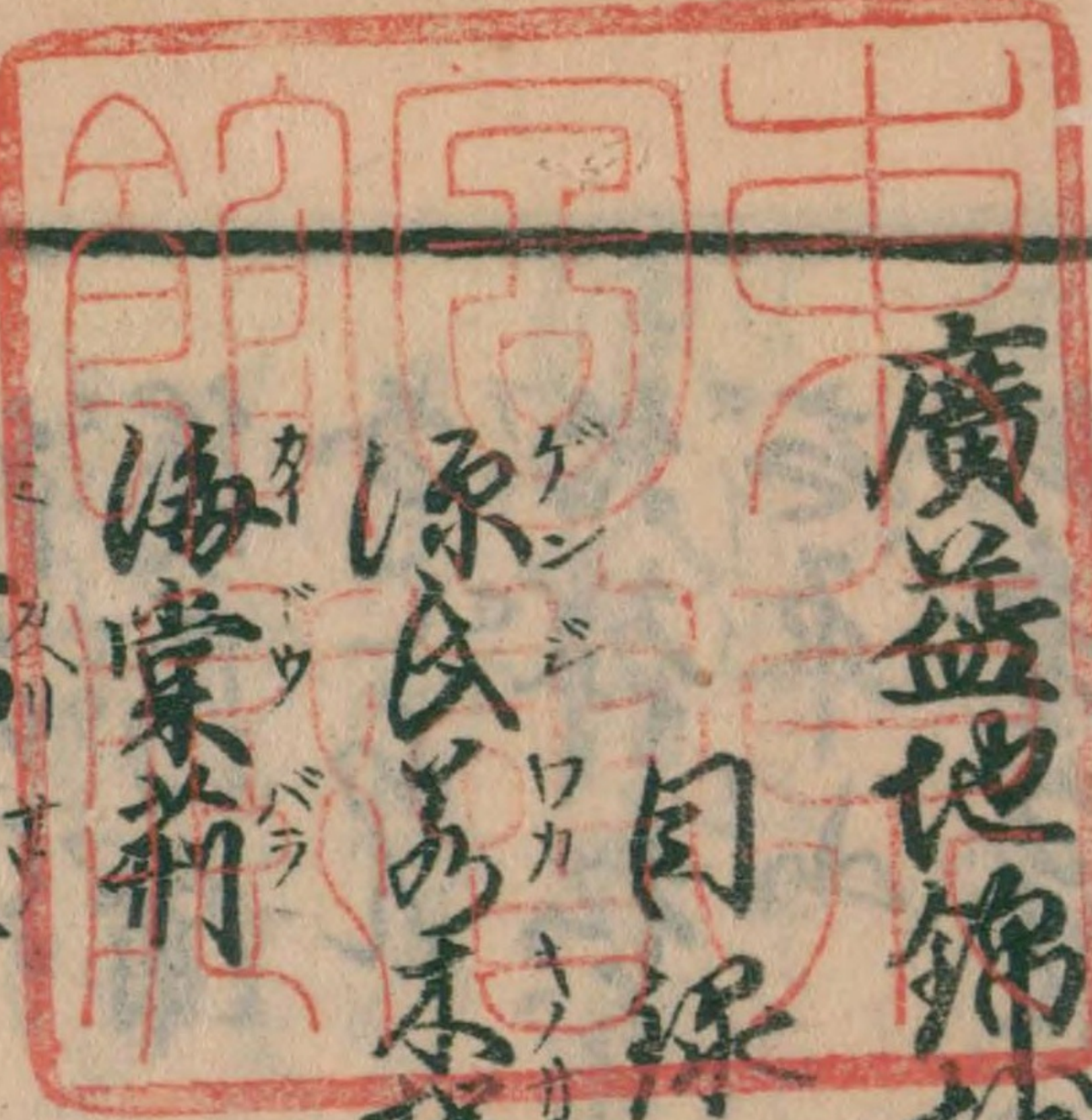
名友ニキフデ

巨泉花リウセンクハ

早若蒙ホシイハ

子木陰シロホシ

矢車菊ヤグルマ



卷之八

玄葵 タチハフヒ

覆輪 フクリン

銀糸 ギンシ

菖蒲 セウブ

あごらん

物鮮松 モノセン

右平山 タチヘイ

仙卷 センマキ

約澹蔓 ツリカネカヅラ

花忍 ハナニガ

写花 カクシ

児百合 コユリ

白友 シロトモ

物入松 モノイリ

枯百合 カラユリ

珍丸 メニマル

薄麻 ウスアサ

筋 スジ

草橋 クサハシ

尺 シチ

白八 シロヤチ

紫 ムラサキ

江戸 エド

紅 ベニ

廣益地錦抄卷之八

花本類

源氏 ゲンジ

見山 ミヤマ

ていり テイリ

まふ マフ

あさ アサ

くみ クミ

のろ ノロ

とら トラ

さく サク

熊 クマ

さ サ

ひ ヒ

ま マ

こ コ

く ク

す ス

む ム

す ス

巻之八

一

小浜母うをてと花
多くうくを貴とべ

大喉^{おほのど}くど くれ乃
あへんらん一所母十

余のん色あひまのりさ
そそ振^{ヒキ}有花乃花ふ
せりまきいまんけの
らあ母せもいんまん
けつとせりあきま
くく細あぐくらあ

らくさくは中乃て
やうたそりてとま
が橋といふう花乃
魁^{ヒカ}といふ行りも山
さうう小橋てくく
くてを貴とべ

足力^{あしぢから}へり象 葉乃名
ありて葉

にわらん本とあ
と徳^{トク}花乃本あゆ
あとしてまりのの
にらあ射あ付しの

の葉よはくま二月

ころあおほくさ
あがめとそりま
林乃らん九月はあ
冬のうら花さくを^カ狂
舟と回^マはよまあ
わくくあがめ
どうるてあま
海業^{かいごう}前 花乃様
うと紅乃あやかん
目とありてう

乃あのりちあ
がま二寸か
魚^{イサ}鱗^{ハシ}りにはり
乃あよりも乃
すの花さく
うと紅色を
乃あよにり
あまより
とせく月あ
果^ミ取^トる花
黄棟^{オウトウ}樹^{ジュ} 味^{アジ}地^チ葉^{エフ}も
はあはてその

黄棟^{オウトウ}樹^{ジュ} 味^{アジ}地^チ葉^{エフ}も
はあはてその

卷十六

二



く海棠花のどく一
可よまふまふくひら
てふがめえと四月花
さく愛とてし

桃也松梅 うとひさ
さより紅多すす
とく多とひおち
たざくろく三枝あり
○本おせんつう。白せん
う。○美也せんやう
ゆゑとてふと平野

さより紅多すす
とく多とひおち
たざくろく三枝あり
○本おせんつう。白せん
う。○美也せんやう
ゆゑとてふと平野

ちりより葉はむら
実乃を葉おあさ
ふ葉ともふ希く
はねのほがら
て下へさうりて楊梅
乃ち香くして葉お
なる色れおく六月
み又付うてあ
あり

朝鮮空木 二三尺を
乃小樹也
葉を本とてうらぶ

つとく梅枝のほも
又六月より花のうく
廣は東陽 うらうら
似りのちかあらさ
いよ心く白く花形
つそそそくして枝
りて臺さうりて
くゆへ尖葉湯も
六月よりさく花本
拂座す家内を
すうゆへしたま

つとく梅枝のほも
又六月より花のうく
廣は東陽 うらうら
似りのちかあらさ
いよ心く白く花形
つそそそくして枝
りて臺さうりて
くゆへ尖葉湯も
六月よりさく花本
拂座す家内を
すうゆへしたま

つとく花白小つ
一より多くあ
つとてあひ
くらんささ本
花かやくさ死小
う色くかか免
大さうる本へ
枝く枝葉も
て花多く咲二月
らくうて
五泉巷 此は
あさ





深谷の桜

四季ともに不凋花
あり初秋乃よりよ
り冬乃の中ハ花
白のつゆうくあが
を道より残るる
て花葉よりと
かまのてり
千本松 宿根より
まきにはくゆる夏
ら花ゆるたつと尺
きくぬ小葉より花ハ

花取友小松く一所
みちみく下へさ
てゆく花乃を拾
白く香のどく切花
あしてはうし
まわらうぶと
矢車草 宿根より
花乃葉小松く一葉
み葉つ出て花乃
矢車小松より花ハ
白く六七月花く



大
花
桃
一



大
花
桃
二

六



見入の草



海棠花



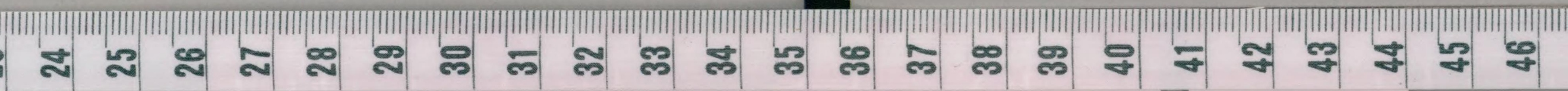


唐あざむら



あざむら

巻十



約子
約子



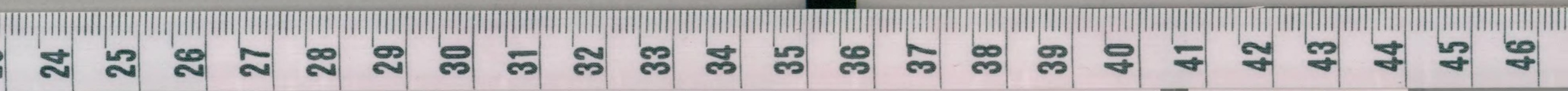
黄棟樹
黄棟樹





● 卷十六

● 卷十六





せんり
子本珍



ハ
矢車草





つらみ
直葉



つらみ
蔭麻の菊
だるまの菊



西漢のちち



ろ子う
釣漣蔓

卷十六

廿





うぐいすかぶと
覆輪万年草

うぐいすかぶと



24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

約種蔓

蔓の冬りく

てふみせんかつこれと
く竹よりうきそく花
煙りうみ新ふうをて
ちがわと寸花の珠の
うら二雨丹七八数づ
さうりて咲花乃るり
うとね色肉へ令衆
地乃びくく四月比ひ
ささ花飛あひうく
也と

花懸

紫ち小葉の
葉又妙くわ

ひくくくくくく
いふふふふふふ
四月と五月はうり花
ゆくくくくくく
き小つんふ出梅花
乃びくくく一所ふ多
咲てあうわくふと
かつちかて八九月
花うく掛くくく
又白花ありく二枝

又紫令葉は根乃ど
く初ま母葉と出た又
六寸やどの小草すり紫
形あひ乃紫みゆく
一茎に二葉つく物も
うるは花さくくか
二数あり色まう又
小花二出みくく
色白く二月と入り
ゆくくくくく
うらすり小葉小枝て

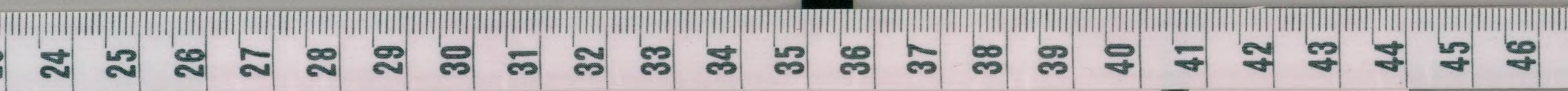
紫葉白昌

花形つ子
れわわあ

乃びくくくく
中ふ名白紫ゆ
花よりゆさりてか
が先とすくく夏乃
ゆゆゆゆゆ
紫とかりり云ゆの
くくくくく
さ花あ色は花乃
わわあ乃あくく
うひくく

卷七十六

六



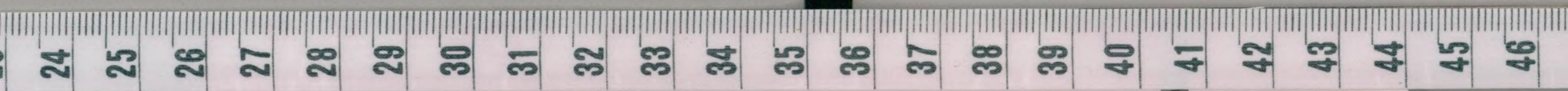


卷之六

十九

卷之六

十九





花
萬
蒲



橘



見
ひ
さ
な

鬼
百合
菜



卷
七

七

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

卷十六
九



さくらんぼ

さくらんぼ



卷十六
九



朝鮮松弁
まろくち
まろくち



白八重松弁
まろくち
まろくち



卷二十六

三

卷二十六

三

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

蘇合すいじゆ



蘇合すいじゆ

おりのままの
杉八松介



杉八松介

三

ほどさく
いし
松がせんわりの



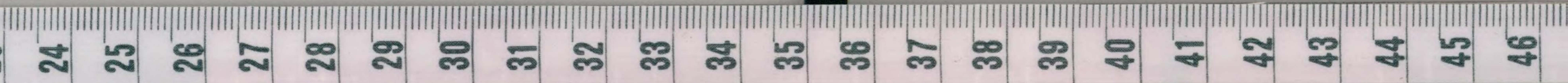
たいへいえん
大車山ゆり



● 巻
11

花

花

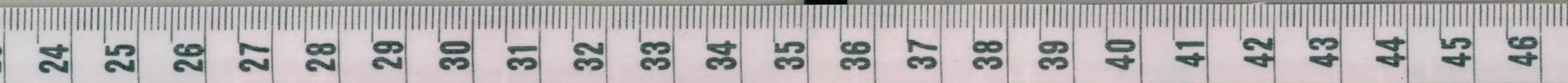


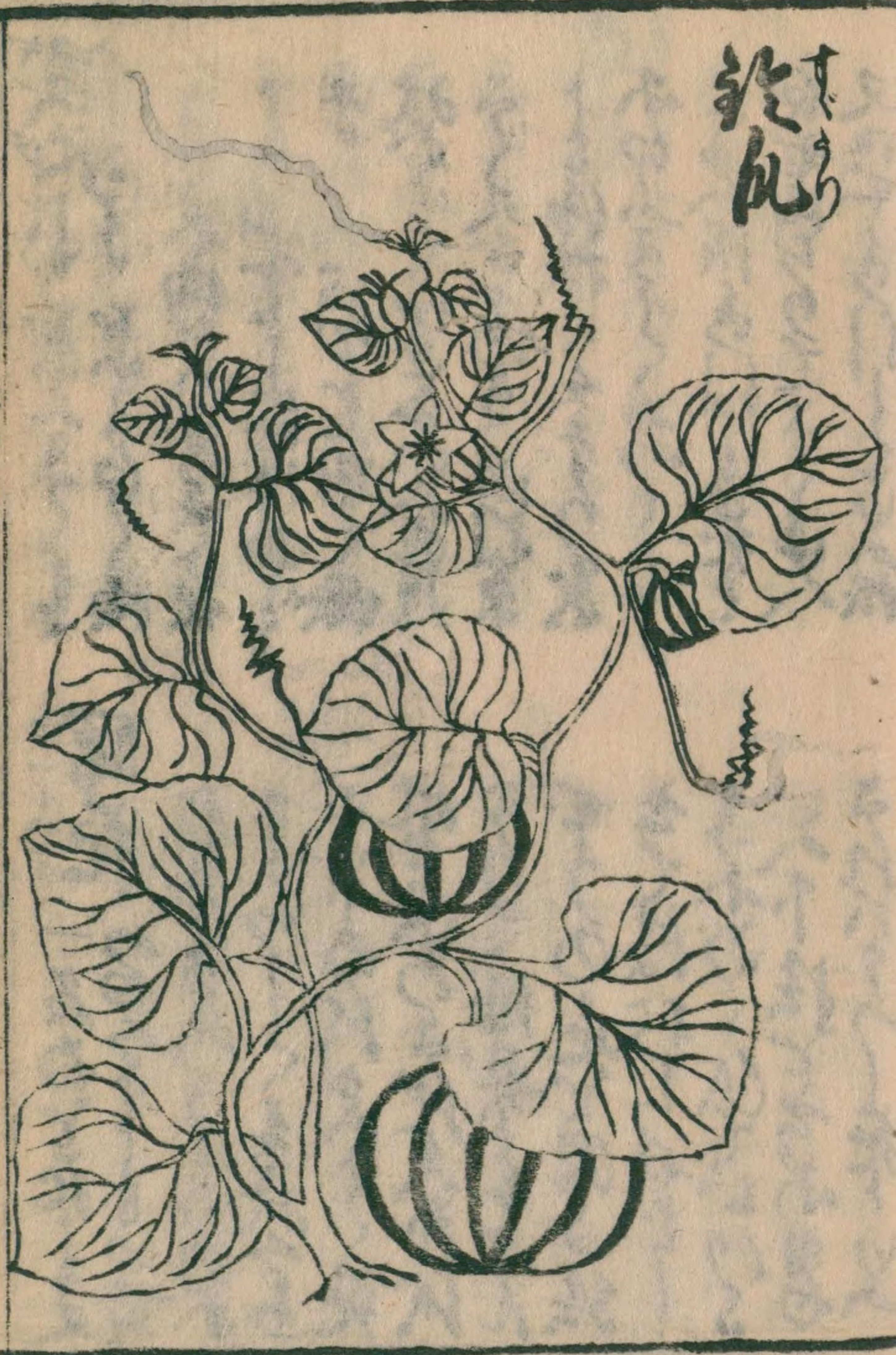


秋あき咲さくくゆり



花はなのなままのなまま





鈴丸

鈴丸
みでこ



見目金糸 糸の糸く

さへ草あひのくさう
すねのくさくさく
六か横へじとてむく
ゆりふれとて竹根
ゆりの糸あひのく
此根のくさくさく
かたのくさくさく

かゝ葉 葉の糸く

さへ糸の糸く

おして糸くさくさく
おしくたさくさく
おまゝの糸くさく
糸くさくさく
て糸くさくさく
糸くさくさく
中ふ一糸ありて
糸くさくさく
ら糸くさくさく
と糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく

花より糸くさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく

見目 糸の糸く

徳の糸くさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく

白糸 糸の糸く

糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく
糸くさくさく

糸

糸



かづりあしあまの雪を
 おとしく冬をまのり
 に入道中へ六巻のうら
 ちしふまをくをきん
 ふせぐへー葉葉乃枝
 やうやくうーとあま
 六月末はひしく

お入松介 かみおの松
 幸見あけ

此のへこの口へ龍を
 てお入てあまを
 にあまのりへを花

又月はひしく

将令透百合 あまの

のるのちのた地
 うんをそ花の中
 うんをそ花の中
 あまのりへを花
 花の色をふさ
 さたがりのあま
 月初こふさく

秋候昔百合 あまの

かづりあしあまの雪を
 つく葉乃地を
 て葉大まくあ
 を葉をま
 切也あ
 のつが
 て葉を

白入松介 やまの松

龍の二を
 花の

とくは酒よ龍
 花の
 めとあ
 其の
 此花
 系於
 本と

平山百合 あまの

花の
 の花
 野の



おしく白く花中に黄物
あり知れ果は早もあり
横入いそそ困るひは
ゆり六月中一ひもく
こぼり七月中はひもく
てめつこし

仙童せんどう 花はな 中なか のの 見み

うとむしうたふせき
らこの花よりすこし
かつらんそあひくし
たろまうりよは花乃

花はな 中なか のの 見み
お味おみ 花はな 中なか のの 見み
てしむまればおく
は果文のく花乃まのり
ふひくあつらんそり
そしむし花乃く候
たつらんそりそり花
花乃月ひく

花乃そ黄白お
はにあつ六月用のほ
は花乃く候のそり
おつけ乃

花乃月ひく
は花乃く候のそり
おつけ乃
は花乃く候のそり
おつけ乃
は花乃く候のそり
おつけ乃

花乃月ひく
は花乃く候のそり
おつけ乃
は花乃く候のそり
おつけ乃
は花乃く候のそり
おつけ乃

花乃月ひく

花乃月ひく



185
20
133

東武江北線并

撰著
自圖

伊兵衛



享保四年 仲春

武江日本橋南一町目

伊原屋次郎兵衛刊板

卷十七

三十一



185

東 京 圖 書 館

和書門

音樂類

禮函

三架

一號

二〇冊

133

8

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46